

## 2021 年度第 7 回価格審査会の開催について

2021 年度第 7 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2021 年 10 月 14 日(木)	
場 所	6 階大会議室	
委 員	田中 弘	日本工営株式会社 技術本部 専門顧問 技師長
	鈴木 孝之	東日本旅客鉄道株式会社 東京工事事務所 工事予算計画室 室長
	鈴木 由香	株式会社日本設計 コスト設計部長
	辻 保人	一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリンズ・テクリスセンター長
	橋本 雅宏	東日本建設業保証株式会社 業務部 副部長
当 会	共通資材調査部	部長：大谷 忠広、次長：康広 誠己
	建築調査部	部長：高橋 俊一、次長：渡辺 弘一
	監査審査室	室長：今井 豊
	調査統括部(事務局)	部長：神田 尚昭、課長：菊池 信博

2021 年度第 6 価格審査会議事録(案) 確認

2021 年度第 7 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明	
1. 「建設物価」11月号、「Web 建設物価」11月号の価格動向	
・価格が上伸した資材（工事費）	
【Web 建設物価】	
月積み契約分鉄鋼販売価格 形鋼、鋼管、鋼板・平鋼（全国）、一般構造用丸鋼（福岡市）、H形鋼（北海道を除く各都市）、鋼板（全都市）、ステンレス鋼（全都市）、線材製品（東北、関東、北陸、中部の各地区）、摩擦接合用高力ボルト（全地区）、レディーミクストコンクリート（八雲、久慈、普代、洋野、南相馬、土浦、取手、筑西、十日町、高岡、氷見、日田、臼杵）、再生砕石（鹿屋、曾於）、一般土木用木材【杉】（北陸、中部、近畿、中国、四国、九州の各都市）、コンクリート型枠用合板（全都市）、ステンレス製バルブ（全地区）、燃料油【スタンド渡し】（福島除く全都市）、鉄スクラップ（全都市）、非鉄スクラップ【アルミ】（全都市）ほか	
・価格が下落した資材（工事費）	
【Web 建設物価】	
燃料油【スタンド渡し】（福島）、非鉄スクラップ【銅】（新潟、広島、福岡を除く各都市）ほか	
・企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明。	

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
質問 1	<p>接続ブロックの変動率が46.1%と非常に大きい値を示しているが、変動理由は何か。</p>	<p>東京地区へ供給している3社のうち、安値で販売していた2社が生産を止めた。このため、残り1社の価格が浸透し、上伸となった。</p>
質問 2	<p>アスファルト混合物で帯広地区が+1,300円と北海道の中で最も大きく変動したが、その理由は何か。</p>	<p>メーカーの値上げ理由はストレートアスファルトの値上がりや輸送コストの上昇などで、他地区と比べて輸送コストの上昇幅が大きかったためである。</p>
質問 3	<p>セメントの製造に使用する石炭は高騰しているのに、セメント価格の先行きが横ばいなのはなぜか。</p>	<p>セメントメーカーは値上げを打ち出しているが、生コンメーカーがこれを受け入れておらず、先行きは横ばいとしている。</p>
質問 4	<p>燃料油は、福島市だけが下落したが、その背景を知りたい。</p>	<p>福島地区のスタンド渡し価格は、新規開店した販売店1社が顧客獲得のため安値販売を行ったことで、価格競争が発生しわずかながら下落となった。</p>
質問 5	<p>鋼材類の価格が全国的に上昇しているなか、なぜ一般構造用丸鋼は、福岡地区のみが上伸となったのか。</p>	<p>原料高を受けた鋼材メーカーの値上げは、多くの品種、地区で浸透している。一方、建設向け需要が低迷していることもあり、値上げ浸透が遅れている品種や地区も存在し、一般構造用丸鋼では、福岡地区以外が横ばいとなった。</p>
質問 6	<p>軽量盛土材―ブランド品―、のり面緑化材―ブランド品―で、メーカーの価格体系変更が浸透し下落とあるが、具体的なイメージを知りたい。</p>	<p>メーカーは仕様やサイズなどの規格によって製品価格を体系化している。価格体系を見直す際には、製品全体のバランスをみながら規格毎に価格を改定するため、一部の規格において下落するケースもある。</p>
質問 7	<p>管柱 杉 (KD) 材で東京地区は横ばいだが、今後の動向を知りたい。</p>	<p>これまで入荷が滞っていた輸入材が、ようやく市中に入ってきている状況である。そのため、高値ではあるが横ばいとなった。引き続き注視したい。</p>
質問 8	<p>カラー亜鉛鉄板が上伸しているが、亜鉛メッキ自体の動向を知りたい。</p>	<p>溶融亜鉛メッキ費には、いまのところ変動は見られない。非鉄スクラップの亜鉛は、今年に入り少し上伸したが、大幅な変動はみられない。</p>
質問 9	<p>大手ガラスメーカー3社が今月値上げを打ち出しているが、どの様に見ているのか。</p>	<p>今月調査においては、流通はメーカーの値上げを受け入れてはいない。引き続き今後の動向を注視したい。</p>

質問 10	高力ボルトが現在上申している理由は、2~3年前にあった供給量が不足したために価格が上申したという流れを引きづっているためなのか。	現在、在庫不足感はなくなった。大手メーカーは、供給に問題はないとみている。値上げの理由は、原材料価格の上昇によるものである。
審議結果	「建設物価」11月号、「Web 建設物価」11月号の価格動向に問題はなかった。	

以 上